

令和6（2024）年度

地域づくりを考える！青少年ボランティアセミナー ①

地域づくりを考える！ボランティアスタートアップセミナー①

学びによる地域づくり実践セミナー①

実施報告

実施日：令和6（2024）年8月3日（土）

地域づくりを考える！青少年ボランティアセミナー、地域づくりを考える！ボランティアスタートアップセミナー、学びによる地域づくり実践セミナーの3つの研修を合同で開催しました。午前に講話「生涯学習と地域活動・ボランティア活動」と演習「地域課題の解決に向けて描く地域の姿」を、午後に講話「地域での活動に求められること」を行いました。

今回の研修は、受講者が対面とオンラインを選択するハイフレックス方式で行いました。



講話「生涯学習と地域活動・ボランティア活動」

栃木県総合教育センター職員

栃木県総合教育センター生涯学習部生涯学習相談員が、地域活動とボランティア活動の意義や目的について説明し、当センター内生涯学習ボランティアセンターの紹介も行いました。ボランティア活動を行う上での大切な視点や、時代とともに変化する社会の中で、地域活動やボランティア活動に取り組むことの重要性について理解を深めることができました。



演習「地域課題の解決に向けて描く地域の姿」

栃木県総合教育センター職員

地域課題とは何かを考え、それらを解決していくために必要となる姿勢や心構えを周囲の人たちと考えるというねらいの下、グループで自分の住む地域の特徴を共有したり、理想の地域をイメージしたりして、それを実現させるためにはどのようなことが必要かを話し合いました。オンラインでの受講者もブレイクアウトルームの中でグループ協議を行いました。そして、地域課題の解決のためには、地域同士の交流やつながりづくりが大切であることを受講者同士が交流を深めながら学ぶことができました。



講話「地域での活動に求められること」

とちぎユースサポーターズネットワーク 代表理事 岩井俊宗氏

岩井氏は宇都宮市を中心に若者の力を生かして、地域課題の解決や地域の活性化に向けた事業を行っています。その事例を提示しながら、地域課題の解決のためには、「どのような地域にしたいのか」といった、地域の理想や願いを様々な人々と交流しながら捉えること、仲間たちとわくわくしながら活動すること、そのために共通の目的を持つことなど、地域での活動を行っていく上で大切にしていかなければならないことを、岩井氏の経験や思いも交えて話されました。



また、話し合いを活発に行うためには、根拠にこだわらず、理想や願いをどんどんあげていく必要があるとして、グループごとに自分たちの理想や願いをあげて、それをどんどん膨らませていくというワークを行いました。受講者は前向きに、にこやかな様子で話し合い活動を行っていました。

＜受講者の感想から＞

- 自分のやってみたいことを見付けるきっかけ、理由にもなることを実感したため、このような活動に積極的に参加していきたい。
- 若者と共に地域の活性化を図るために、今回学んだことを生かしていきたいと思う。
- 地域づくりとは何か、そして私たちが地域課題に対して何をすべきでどう他の人たちとつながっていけばいいのか改めて学ぶことができた。特に、理想や願いがあるかないかで地域づくりの有効性が変わってくるというお話に共感した。
- 地域づくりやボランティア活動、人とのコミュニケーションについて理論から学ぶことができ、非常に有意義な時間だった。また、ブレイクアウトルームでの話し合いでは、オンラインでありながらも積極的に意見を交換できており、とても良い雰囲気だったと感じる。地域課題を発見し解決していくという言葉は少し重苦しいものに聞こえがちだが、もっと気軽に自由に考えてよいのだと気付いた。

研修内容に関するお問い合わせは、栃木県総合教育センター生涯学習部まで
TEL:028-665-7206 e-mail: skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp